

ダンスと音楽でおくる夏の夜の夢

The

Opera

Fairy

Henry Purcell

Queen

ヘンリー・パーセル

妖精の女王

..... 出演

波多野睦美 脚本・監修・歌

辻田 暁 ダンス・演技

井上暢子 小出京子 西谷奈菜 歌

廣海史帆 ヴァイオリン

浅井 愛 リコーダー

折口未桜 ヴァイオル

土居瑞穂 ハープシコード

衣装協力 萩野 緑

舞台美術・照明 大平久美

聴いてごらん

世界のすべてのものが

ひとつの音を喜んでいるのを

(第5幕より)



2026. 4月24日 金曜日

ムジカーザ ⑥ MUSICASA

小田急線・メトロ千代田線「代々木上原」駅東口5分

15:00/19:00 昼夜2回公演 各30分前開場

◎昼公演：15時からプレトーク（10分） 16:30 終了予定

◎夜公演：終演後アフタートーク（20分） 20:50 終了予定

全自由席：各回 一般 6000円 高校生以下4500円 当日券+500円

*高校生以下チケットはダウランド アンド カンパニーのみ取扱い

*未就学児の入場はご遠慮ください

ご予約：ダウランド アンド カンパニー



e+ イープラス



主 催：オフィスソネット／パーセルクラブ

お問合せ：ダウランド アンド カンパニー TEL.042-390-6430



「妖精って、見ますか？」と聞かれたことがある。「見ません」と即答したが、私は日常的に妖精を見る人だと思われていたのだろうか。
“妖精のような人”には、これまで幾人にもめぐり合った。年齢も性別も越えたような、時空すらふわりと飛んでいるような人たち。

ダンサーで俳優の辻田暁さんはその一人だ。
辻田暁さん主演の舞台《ピノッキオ》（テレーサ・ルドヴィコ脚本・演出）は、何度観ただろう。ラストシーンで、木の人形が人間に変わる瞬間が来ると、説明できない感情にいつも涙腺を刺激された。

その声も、身体の線も変幻自在な暁さん。時に少年であり、成熟した女性であり、また“魔”にもなる、不思議な舞台人だ。

《妖精の女王》のミニマムなスタイルでの上演を決めた時、私の頭にはすでに暁さんの体が踊り、声が響いていた。

パーセル×シェイクスピア——俳優と歌手、それぞれの声と体でおくる〈妖精の女王×夏の夜の夢〉ぜひ一緒にください。

2025年12月 波多野 睦美



波多野睦美

Mutsumi Hatano (メゾソプラノ)

英国ロンドンのトリニティ音楽大学声楽専攻科修了。シェイクスピア時代のリュートソングでデビュー後、バロックの宗教曲やオラトリオにソリストとして出演。バロックオペラにおいても深い表現力で注目され、モンテ

ヴェルディ「ボッペアの戴冠」(オッターヴィア)、パーセル「デイドとエネアス」(デイド)などを演じる。現代の音楽では間宮芳生、高橋悠治、権代敦彦ら広い世代の作曲家の作品を演奏し、厚い信頼を得る。CDは古楽器との多数のアンサンブル作品の他、高橋悠治(作曲/ピアノ)、桒尾克樹(バリトンサクソ)、北村聡(バンドネオン)、大萩康司(ギター)らと幅広いレパートリーを録音。最新作は大萩康司との「時_Die Zeit」。ダンス、演技に辻田暁を迎えての音楽劇の脚本・監修公演は「クリスマス・キャロル」に続き、2作目となる。

辻田 暁

Aki Tsujita (ダンサー・俳優)

6歳よりクラシックバレエをはじめる。桜美林大学卒業。演劇を平田オリザ、コンテンポラリーダンスを木佐貫邦子に師事。「旅とあいつとお姫さま」「ピノッキオ」(以上、テレーサ・ルドヴィコ演出/座・高円寺)、カンパニーデラシネラ「分身」(小野寺修二演出/世田谷パブリックシアター)、「エリサと白鳥の王子たち」(扇田拓也演出/日生劇場)、「ひなたと月の姫」(広崎うらん演出/日生劇場)等、多くの舞台作品に出演。「ものを言う身体」をテーマとし、身体表現の可能性を追究している。



©Hideto Maezawa



廣海史帆 Shiho Hiromi (ヴァイオリン)

東京藝術大学を経て、同大学大学院を修了。第22回古楽コンクール(山梨)最高位、併せて桒木・蔵の街音楽祭賞を受賞。2007、08年、バリ・シャンゼリゼ管弦楽団より奨学金を受け、サント・ヨーロッパ音楽アカデミーに参加。バッハ・コレギウム・ジャパン、横浜シンフォニエッタ等の公演・録音に多数参加している。



浅井愛 Ai Asai (リコーダー)

上野学園大学器楽学科卒業。東京藝術大学大学院音楽研究科修了。ミラノ市立音楽院修了。島田暁子、田中せい子、山岡重治、濱田芳通、D.ブラジエッティ各氏に師事。「ドラえもん」のび太の地球交響楽(音楽:服部隆之)に演奏で参加。CD「愛のリコーダー」音楽現代推薦盤がある。玉川大学芸術学部芸術教育学科、上野学園講師。



折口未桜 Miou Origuchi (ヴァイオリン)

上野学園大学短期大学部コントラバス専門を卒業後、同大学ヴァイオリン・ダブル・バズ専門3年次へ編入し2015年に卒業。櫻井茂氏に師事。様々なアンサンブルと共演するほか、通奏低音奏者としても多くの演奏会で活動している。現在上野学園器楽研究室に勤務。PRISM consort of viols メンバー。



土居瑞穂 Mizuho Doi (ハーブシコード)

東京藝術大学古楽専攻卒業、同大学院を修了。鈴木雅明氏に師事。同大助手を務める。チェンバロ、オルガンの通奏低音奏者として、様々な演奏会に参加。2018年よりバロックヴァイオリンの廣海史帆と共にアンサンブル・ヴェルジェを主催。古楽器の演奏家をゲストに招き、17、18世紀のプログラムを中心とした演奏会を行なっている。



井上暢子 Nobuko Inoue (メゾソプラノ)

兵庫県出身。高校2年で歌をはじめ。関西二期会オペラスタジオ修了。大阪音大「ザ・カレッジ・オペラハウス」合唱団準団員、少人数声楽アンサンブル《プリマルーチェ》にて経験多数。近年はソリストとしてバロック期イギリス古楽作品および近代イギリス歌曲のレパートリーを深めている。2025年ソロリサイタル「時をこえるイギリスの音楽」を開催。波多野睦美氏に師事。



小出京子 Kyoko Koide (ソプラノ)

武蔵野音楽大学声楽科卒業。洗足学園大学オペラ研究所修了。『フィガロの結婚』、『夕鶴』等のオペラ、宗教曲のソリストを務めるほか、ムジカーザにおけるリサイタル開催、イタリア近代歌曲やバロックのシリーズコンサート、波多野睦美氏監修のパーセル演奏会に出演。長年テーマパークのショーでソロ演奏を行うなど多岐にわたる活動をしている。波多野睦美氏に師事。二期会会員。



西谷奈菜 Nana Nishitani (ソプラノ)

兵庫県出身。広島大学大学院修了。広島県開催U-16国際サッカー大会での国歌独唱の他、オペラや合唱、声楽アンサンブルなど幅広く舞台経験を重ねる。2021年より英国バロック作品を扱う演奏会を多数開催。2023年英国王立音楽院にて個別指導を受ける等、国内外で研鑽を積む。バロック声楽を波多野睦美氏に師事。ソプラノ・デュオ(Sylph)主宰。パーセル・クラブ代表。

MUSICASA

美容室

東口より徒歩2分
(改札から5分)

代々木上原駅

ムジカーザ MUSICASA

渋谷区西原3-33-1 TEL.03-5454-0054

小田急線・メトロ千代田線「代々木上原駅」
改札口より徒歩5分
東口出口より徒歩2分(急坂)

